

No.27	ENEOS株式会社 麻里布製油所			認定 区分	リデュース
所 在 地	玖珂郡和木町和木六丁目1番1号	代 表 者	所長 加藤 克幸		
事業内容	石油精製業、石油コークス製造業、電力供給業	従業員数	442名		
担当部署	環境安全グループ(TEL0827-24-6140、FAX0827-24-6474)				

事業所紹介

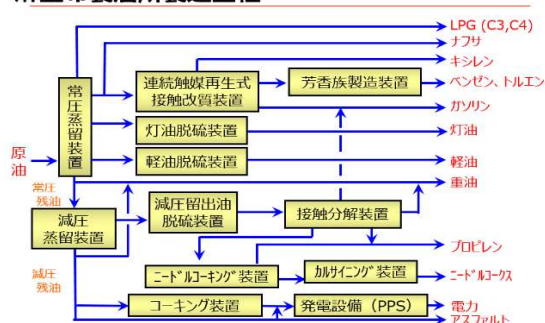
山口県の最東端に位置し、瀬戸内海に面した緩やかな地、和木町。麻里布製油所は、この場所で1943年（昭和18年）に操業を開始しました。我が国の石油コンビナート発祥の地として最も長い歴史を誇る製油所です。

以来、石油精製のパイオニアとして、環境影響負荷の少ない高品質の石油製品を提供しています。

現在は、ENEOSグループの本州最西端製油所として、中国、四国、九州、北陸地方に石油製品を供給する大事な使命を担い、限りある資源の有効活用と環境にやさしい製油所として地域に密着した企業を目指しています。



麻里布製油所製造工程



3Rの取組

弊所では、原油の精製工程、用役設備などにおいて発生する污泥、廃アルカリ、捕集ばいじんや使用済み触媒の他に建設工事から発生するコンクリート・アスファルト廃材や木屑・プラスチック類等のさまざまな廃棄物が発生します。

廃棄物の発生量を抑制しつつ、有価物として再利用、別の用途に再資源化を推進し最終処分量の削減に取り組んでいます。

【有価物として再利用】

- ・ 脱硫装置、接触改質装置の使用済み触媒から希少金属回収
- ・ 発電ボイラー炉内スケールからバナジウム回収
- ・ 発電ボイラー脱硫設備から石膏回収

【発生量抑制】

- ・ 寿命の長い触媒・吸着剤・活性白土等へ変更
- ・ 苛性ソーダ 溶液の濃度を上げて使用量を削減

【ゼロエミッション対策】

- ・ 循環型社会の実現をめざし、廃棄物の適正管理・再資源化等による最終処分率の削減に取り組んでいます。今後、さらに廃棄物対策を充実しゼロエミッションを維持継続していきます。
- ・ 廃棄物はセメント原料、燃料化、路盤材、堆肥等再資源化可能な処理先を選定して委託しています。なかでも、廃石綿は熔融処理による無害化・再資源化を継続中です。